送りがなプリント はってん①（て・たの かたち）

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

小5／うごく ことばの て・た形（4／5）

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

形が かわった ことばの 送りがなの 書き方

れい あたらしい きまりを もうけた。

設 けた ＿＿＿＿

れい ともだちを せめて しまった。

責 めて ＿＿＿＿

考え方	れい1	れい2
① もとの かたちに もどす	もうける	せめる
② もとの かたちで 送りがなが はじまる ところを 見つける	↓ 設**ける**	↓ 責**める**
③ そこから あとを ぜんぶ ひらがなで 書く	↓ 設**けた**	↓ 責**めて**

線の ことばの かたちに なるように、かん字の あとに 送りがなを 書こう。

(1) ねこの かずが ふえて きた。

増 ＿＿＿＿

(2) ふたつの おもさを くらべて みる。

比 ＿＿＿＿

(3) たきびの ひが あかく もえた。

燃 ＿＿＿＿

(4) たまごを よく まぜて から やく。

混 ＿＿＿＿

(5) むかしの ひとが おしろを きずいた。

築 ＿＿＿＿

(6) むずかしい もんだいを といて みた。

解 ＿＿＿＿

(7) にもつを りょうてで ささえて いる。

支 ＿＿＿＿

(8) あたらしい がっこうに なれた。

慣 ＿＿＿＿

(9) マスクで かぜを ふせいで いる。

防 ＿＿＿＿

(10) かべの ちかくに つくえを よせた。

寄 ＿＿＿＿

(11) おぼれて いた こいぬを すくった。

救 ＿＿＿＿

(12) しあいに かって みんなで よろこんだ。

喜 ＿＿＿＿

できたら：こたえを 声に 出して 読み、線の ことばと 同じ 読みに なるか たしかめよう。

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「送りがな」のプリント一覧がひらきます

送りがなプリント はってん①（て・たの かたち）【こたえ】 なまえ ＿＿＿＿＿＿

小5／うごく ことばの て・た形（4／5） ひづけ ＿＿＿＿＿＿

形が かわった ことばの 送りがなの 書き方

れい あたらしい きまりを もうけた。

設 けた

れい ともだちを せめて しまった。

責 めて

考え方	れい1	れい2
① もとの かたちに もどす	もうける	せめる
② もとの かたちで 送りがなが はじまる ところを 見つける	↓ 設**ける**	↓ 責**める**
③ そこから あとを ぜんぶ ひらがなで 書く	↓ 設**けた**	↓ 責**めて**

線の ことばの かたちに なるように、かん字の あとに 送りがなを 書こう。

(1) ねこの かずが ふえて きた。

増 えて（もと：増える）

(2) ふたつの おもさを くらべて みる。

比 べて（もと：比べる）

(3) たきびの ひが あかく もえた。

燃 えた（もと：燃える）

(4) たまごを よく まぜて から やく。

混 ぜて（もと：混ぜる）

(5) むかしの ひとが おしろを きずいた。

築 いた（もと：築く）

(6) むずかしい もんだいを といて みた。

解 いて（もと：解く）

(7) にもつを りょうてで ささえて いる。

支 えて（もと：支える）

(8) あたらしい がっこうに なれた。

慣 れた（もと：慣れる）

(9) マスクで かぜを ふせいで いる。

防 いで（もと：防ぐ）

(10) かべの ちかくに つくえを よせた。

寄 せた（もと：寄せる）

(11) おぼれて いた こいぬを すくった。

救 った（もと：救う）

(12) しあいに かって みんなで よろこんだ。

喜 んだ（もと：喜ぶ）

つまずきやすいところ

増て・比て のように、もとの 形で 送る 字まで 落とす まちがいが 多い。
もとの 形を 声に 出して、送りがなの はじまりを たしかめさせます。
採点：線の はんいだけで よい（あとに つづく ことばまで 書いても 送りがなが 正しければ 正）。